

圃場の排水対策徹底と

適正播種で収量向上を！

1. 排水対策

◎そばは湿害に弱いいため、排水対策を徹底しましょう。

- ・圃場周囲や圃場内に明渠を設置しましょう。圃場内の明渠の間隔は4～5m程度を目安とします。
- ・サブソイラ等による補助暗渠は、30 cm前後の深さで暗渠や明渠と直行するように施工します。

表1 播種直後の湛水処理と出芽率

処 理		出芽率 (%)
無	湛水	87
1日間	湛水	26
3日間	湛水	3

2. 土づくり・施肥・耕起

◎極端な酸性土壌では生育が阻害されます。

苦土石灰（目安:60kg/10a）等で酸度矯正を行いましょう。

◎施肥は窒素成分量 2～3kg/10a を基本に施用します。

十分な生育と収量を確保するためにはリン酸・カリの施用も重要です。成分量でリン酸 6～8kg/10a、カリ 6～8kg/10a を目安に施用しましょう。

◎堆肥や鶏糞等の有機資材の施用も生育・収量確保に有効です。積極的に施用しましょう。

◎耕起は、播種直前に碎土率が高まるよう丁寧に行いましょう。

3. 播種

◎播種適期

- ・「山間部では7月下旬」「中山間部では7月下旬～8月上旬」「平坦部では8月上旬」
- ・極端に早い播種は徒長や開花期の高温による結実不良につながります。

◎播種量

- ・条播で 150 本/m²、散播で 100 本/m²程度の苗立ち本数を目標に播種量を調整します。
- ・千粒重が大きい「でわかおり」「山形 BW 5号」は「最上早生」より2割程度多く播種します。
- ・播種時期が遅くなるにしたがい播種量を増加します。

【10a 当たり播種量の目安】

播種様式	播種量	
	最上早生	でわかおり・ 山形 BW 5号
条播 ※条間 30 cm程度	4～5 kg	5～6 kg
散播	5～7 kg	7～8 kg